

金曜 ライフ・楽しむ

シニア世代を応援するページです

老いも若きも 活躍ラッシュ

わたし色

生活情報誌「悠悠と。」
編集長・真鍋康利さん



いやあ、時の経つのは早いですね。ついこの間、正月を迎えたと思ったら、もう2月です。

そんな中、とても素敵な出来事が起こりました。テニスの大坂なおみ選手(21)が全豪オープンで優勝、世界ランキングトップに立ちました。仕事をしていたのに途中からテレビに釘付け、結局優勝の間まで見てしまいました。快哉を叫び、一人でエアハイタッチして喜びました。

一気にトップに躍り出ましたが、ここまで並々ならぬ鍛錬をしたに違いありません。これからの大変でしょうが、きつと長く活躍してくれることでしょう。



それにしてもこのころ、若い方々の活躍が続き、大いに勇気付けられますね。

先日までは卓球で、18歳の伊藤美誠、平野美宇両選手が続いて14歳の木原美悠選手が台頭、男子でも15歳の張本智和選手が大活躍。サッカーの日本代表もメンバーが大幅に代わり、20歳の堂安律選手や富安健洋選手らが活躍しています。スキージャンプでも見事な活躍をする小林陵侲選手は22歳です。

将棋の世界でも藤井聡太7段が16歳、囲碁の世界でも、

仲邑董さんが4月になんと10歳でプロ棋士になると発表されました。とんでもない才能の子どもたちが出てきたものです。

球春という言葉があるように、プロ野球のキャンプが始まります。昨夏の甲子園を沸かせた大阪桐蔭の根尾昂選手がドラゴンズ、秋田・金足農の吉田輝星選手がファイターズ入団。彼らも18歳ですが、けがなく鍛え、長く存在感を発揮して欲しいものです。



これは、私たちもどうかかしておれないな、と感づいたらやってくれました。今存じ86歳の三浦雄一郎さん。今

回の南米大陸最高峰アコンカグア登頂はドクターストップにより断念、勇気ある撤退となってしまうしたが、「90歳で再びエベレスト登頂」を宣言してくれました。

根室にいらっしゃる大坂選手のおじいさんは目もどがそっくりの74歳ですが、まだまだ現役で活躍中。「めんこい。なでてやりたい」とおっしゃる姿がとてもほほえましかったですね。

若い皆さんは、下からの突き上げもあるでしょうが、それに打ち勝つことも期待しています。

そしてシニアの皆さん。「もう〇〇歳だから」と言わず、「まだ〇〇歳だ、まだまだやれる」と言っていたくださいと思います。

エッ、私ですか？ 私はこの頃です。トホホ。